

3 耐震対策

3 - 1 耐震対策の必要性

地震が発生した際に堤防が崩壊（沈下）しても、2次的な被害が発生しないように堤防の強化を図る必要があります。

砂地盤上に築造された堤防では、地震の発生により地盤が液状化を起こし堤防が崩壊する危険性が、堤防が崩壊（沈下）すれば河川の水が堤内地に進入し2次災害を起こす可能性があります。したがって、2次災害の発生する恐れのある区間では地震に対して堤防の強化を図る必要があります。



兵庫県南部地震による淀川堤防の被災状況

淀川河口部の高麗堤では地震動によって土層が崩壊し堤防が1～2m、最大で約3m沈下しました。川原の公園、住宅地では噴砂現象もみられ液状化による被害と考えられています。



徳島新聞より
【平成7年1月26日(木)】

兵庫県南部地震による鳴門市の被害

液状化現象の起こった
鳴門市里浦町の芋畑【平成7年1月】



液状化現象が起きて噴砂が発生しています。噴砂は、砂粒が地盤の弱い所を突き破って地表面に噴き出す現象です。噴砂の痕跡は、あたかも火山のクレーターのように中央がへこみ、周辺が山のようになっています。